

平成 26 年度 第 4 回 市長と語ろう！タウンミーティング 議事録

開催日時 平成 26 年 7 月 9 日（水） 午後 7 時～8 時 30 分

開催場所 笠間支所 大会議室

参加者 市民 25 人

《フリートーク（意見交換）》

- 1 学校統合後の跡地利用について
- 2 道路整備について
- 3 スクールバスの負担額について
- 4 排水整備について
- 5 降雨時の土のうについて
- 6 箱田土地改良区の河川整備について
- 7 防災無線について
- 8 市営駐車場の運営について
- 9 馬廻の道路整備について
- 10 飯田ダム周辺の道路管理について
- 11 笠間城跡の観光資源化について
- 12 JR 水戸線の将来について

《内容》

1 学校統合後の跡地利用について

【意見等】

旧大池田地区の学校が来春、統合され廃校になるということで、その跡地利用の件で地元では東中学校を中心に議論が始まっている。寂しいことではあるが、笠間市にとっても地元にとってもいい形で活用できればということで話している。東中を実際に見に行ったところ、素晴らしい校舎で床もピカピカで見晴らしも良い。行政からは、売却は最悪のケースということで考えており、地元でいろいろ意見を出してくれという話があるということだが、どのように考えているのかを聞かせてもらいたい。

【回答】

学校の統合に向け、学校同士の交流事業も行い準備を進めているところです。現在は、跡地の利用よりも統合が優先で本格的な議論までは至っていません。体育館は地元へ開放し、利用していただくということで考えています。校舎については、佐城小学校のみ校舎を取り壊して、笠間幼稚園とてらぎき保育所を一体化した「認定子ども園」として整備していく方向で決定していますが、他の学校については何も決まっていません。学校は市の財産であり、教育委員会の財産ではありますが、ある意味地域の財産でもあります。地元でこれにしたいというものがあれば、優先的に考えていくべきだと考えています。地元で利用するものがない。市でもない。民間にも公募したが、民間でもない。ということになれば売却ということになりますが、これは最終の話です。ぜひ地元で検討してみてください。

2 道路整備について

【意見等 1】

農業幹線道路整備について同意書を添えて要請書を出したが、回答書では、来年度の整備になるということだった。農業公社が設立されると農地中間管理機構になると思うが、基盤整備が進んでいない地域の地権者は置いていかれる危険性がある。幹線道路沿いは耕作放棄がないが、機械が大型化しているため、農道が壊れて入れないところは耕作放棄地になって

しまう。予算の関係もあると思うが、一日も早い農道整備をお願いしたい。今年も収穫のために砂利を敷き、道路を整備しなければならない状態だ。

【回答1】

耕作放棄地が広い面積になっているのは、笠間市も含め全国的な課題であると感じている。今までは土地改良が必要と思われる地域に市から提案してきたが、そのやり方でやってきたところは大体目途がついたので、今後は地権者の意見がまとまり、やってほしいというところは整備していくという考えで対応しています。過去にいろいろな事情があってできなかったところ以外は、おおむね土地改良は終わったと考えているので、やりたいところがあれば、地元で話をまとめてもらいたいと思います。指摘された道路はそのままでいいとは思っていないので、段階的に地権者の協力を得ながら進めていきたいと考えています。

【意見等2】

山下の道路は用地買収も終わり、平成 25 年度に完了するということがあったが、なぜ中断しているのか教えてもらいたい。

【回答2】

ほぼ承諾を得て用地を取得していますが、一部、相続の関係で時間を要しています。それが解決すれば、すぐに工事に着手します。

3 スクールバスの負担額について

【意見等】

現在、教育委員会と統合に向けてのさまざまな部分について議論しているところだが、箱田小で今、一番問題になっているのが、スクールバスの負担額の問題である。6月14日の教育委員会の説明会では、月 4,000 円ぐらいの負担になるという説明があった。平成 24 年の 12 月にあった第 1 回の説明会の時は、基準の関係もあると思うが、年間 2 万円ぐらいの負担になるのではないかという話だった。その時も、市の方針で統合を進めているのに負担があるのはおかしいという話が出ていたが、その時に提示された額の倍となっているのでなんとかならないか。

【回答】

小学生で 4km 以上、中学生で 6km 以上の遠距離通学は無料です。3~4km 未満の方は、低学年には補助が出るので 4,000 円ではないですが、高学年は 4,000 円。3km 未満は全員有料ですと説明会で話をさせていただいたところ、4,000 円は高いという声がありました。負担額については、料金は下げていく方向で検討中で、内部でも最終結論は出ていません。次回の学校統合準備委員会で検討結果は発表し、異論が出た場合は、再度協議というスケジュールを進めていきたいと思うのでご理解いただきたいです。例えばの話で、子どもが 3 人学校に通っている家庭であれば、減額するなど方法論としては考えられると思います。負担金の問題はいろいろご意見があると思うので、全員納得するのは難しいと思いますが、なるべく負担軽減ということを念頭に置いて最終決定していきたいと思っています。

4 排水整備について

【意見等】

要望書を出して、抜本的な排水計画をコンサルタントに依頼した結果、何本か排水路を整備して改善したところはあるが、先日の 30 数mmの降水量でも床下まで水が来たり、倉庫に水が入ったりした家もあった。整備計画の内容がよくわからないので、これからどうしていくのかを聞きたい。

【回答】

この地区は 5、6 年前に 1 時間に 50mm ぐらいの雨が降った時に水が溢れ、抜本的な見直

しをするためコンサルタントに依頼をしました。そこで、7年に1度という降水量の1時間50mmを想定して計画をしました。工事は、若干残っていますが、排水整備はほぼ終了したという状況です。先日の雨は、1時間に39mmでしたが、道路に水がたまり、車が通ると波が起きて、床下まで水が来た家屋もありました。このような状況なので、涸沼川まで新たに一本排水路を通すのか、または現在ある排水管を拡げるのかということについて内部で検討をしているところです。コンサルタントの想定が駄目ということではなく、想定をどこに置くかということです。この前の雨は、1時間に39mmとありますが、40分に40mmぐらい集中して降っていました。あのまま降り続けていたら1時間に70mmぐらいになったと思います。1時間に70mmを想定するか、80mmを想定するか難しいところですが、今のままで良いとは思っていないので、どこをどのように改良していくという方針が決まったら地元にお知らせしてご協力をいただきたいと思います。

5 降雨時の土のうについて

【意見等】

土のうは、市で用意できているのか。用意できているのであれば、それは個人で取りに行くのか。

【回答】

土のうは、用意してあります。雨が降っているのが昼間で、職員がたくさんいれば手伝えることもありますが、夜中に雨が降って警報が出れば、支所は3人待機となるため正直難しいので、地元で対応をお願いしたいです。昨今の雨は、集中的に降り、30分ぐらいで止んでしまうので、降ってから土のうを準備すると、いざ作業に入ろうとした時には止んでしまい水も引いてしまいます。水が来てから対応するのではなく、水が来るところはわかっていると思うので、必要なら事前に用意しておいた方がいいです。職員が手伝わないということではないですが、時間帯によっても変わってくるということです。冠水した区間を通行止めにするなどの対応は、できるだけ早くやります。

6 箱田土地改良区の河川整備について

【意見等】

箱田土地改良区の河川のことだが、昨年秋の台風や大雨で法がかなり流れた区間があり、現在は一面ブルーシートで覆われて抑えてある。しかし、6月に入ってからの強い雨でまた流されて、河床もかなり上がり、護岸に草も生えてきて、ブルーシートはめくれているところもある。河川はすでに水戸土木事務所に引き渡してあるが、ため池などへの取水口も埋まってしまう水が取りづらいので、その度に区の負担で業者をお願いして取り払ってもらっている。今月、水戸土木と協議をする予定になっているので要望はするが、昨年の秋からそのままなので市からもできる限り強く要望をしていただけないか。その時に、河床も払ってもらえるような措置を講じていただきたいと思います。

【回答】

水戸土木にはしっかりと要望していきます。河川については、予算の関係もあり、一気にというのはなかなか難しいと思いますが、要望していかないとなかなか進まなくなってしまうのでしっかりと要望はしていきたいです。

7 防災無線について

【意見等】

かさめ～るは良い方法だと思うが、高齢者やメールができない人もいると思う。以前、住んでいたところは、家庭に一台、防災無線ではなくラジオが配備されていた。隣の桜川市の一部も家庭で災害情報が聞けるものがある。防災無線は、家の中では聞こえず、意味がない

のではと思うので、戸別受信機を検討していただけないか。

【回答】

東日本大震災の後、ラジオなどの戸別受信機がいいのか、防災無線のデジタル化に向けて統一がいいのか検討を行い、防災無線を充実してデジタル化していこうという方向でやっています。合併前は、岩間地区では戸別受信機を配付していました。笠間地区でも山あいでは防災無線が聞こえないところは、一部戸別受信機を配付しているところもあります。

今、密閉度の高い住宅が増えているので聞こえにくい住宅もあるかもしれないし、大雨が降ると、その雨音で聞こえにくいと思いますが、全戸に戸別受信機を配付するとすると、相当な財政措置が必要になるので、防災無線で対応させていただいています。

8 市営駐車場の運営について

【意見等】

市営駐車場の利用状況を見ていると平日が多く、土日が少ない。ということは、市役所も含め、平日は会社員が使っているのだと思う。民間の駐車場であれば、4,000円、5,000円払うのが当たり前。無料もいいと思うが、市の財政も恐らく厳しいと思うので、1日100円でもいいから徴収することを検討していただけないか。そして、菊まつりや正月の時期は、観光客が来るので無料にするといいのではと思う。イベント時に徴収したお金は、駐車場のガードマンの人件費ではないかと思う。人件費に充てているのであれば、まったく意味がない。今の閑散期に使っている人は、目的外の使用ではないかという気がしてならない。

【回答】

市営駐車場は、市の職員は有料で利用しています。市営駐車場のあり方は、全国的な課題になっており、コインパーキングのように有料化しているところも出てきました。低料金で有料にするという自治体もあるので、荒町駐車場などは検討してみる必要があるのではないかと考えています。観光客が来たから無料ということではなく、菊まつりやお正月は有料にする、このような自治体は多いと思います。大勢の観光客が来れば、交通整理の人員や料金の徴収員も必要となるので、一定の収入から人件費の一部となっているのは事実です。ただ、人件費が収入を超えてはおらず、料金を取って対応していくという考えでやっており、今後もそれで続けていきたいと思っています。行政財産でも維持管理費などはかかるので、有料であってもいいのではと思います。

9 馬廻の道路整備について

【意見等】

馬廻地内での道路延長工事の件だが、農地改良工事は2月28日～4月30日で終わっていたが、残土が足りなくて終わらず「夏野菜が作れない」と4名から苦情があった。今やっている工事は6月30日～12月26日までということで、必ず終わらせてくれと言われているので、よろしく願います。この工事で買収した土地の発生土は、見積もりの中で市の残土になるのか。見積もりの中に埋立行為まで入っているのか。

【回答】

小原線の工事の件だと思うが、道路改良は、田んぼから畑にして、農地改良をして、耕作をしてという手続きを農業委員会の方にしていると思います。ただその工事の設計の中では、切り土をして張りつける道路の部分しか見ていないので、土を搬入して張りつけては幅すれば、田んぼを埋める分は道路の部分しか設計の中では見ないので、たまたま農地の高さが違うとか勾配がずれてしまうので地盤を上げたいという場合は、地主の方の考え方で、農地改良で田んぼを畑にするとかということもあります。工事が遅れている状況については、実際に残土をどこからか搬入して畑にするとか、残った残土で盛り土をして農地改良のために畑にするとかという施工の仕方です。今実際にやっているところなので、例えば、申請では6月

いっぱい完了、畑になりますと出しても、天候の関係や搬入路の取付けがまだ間に合わないなどの理由で工事で若干遅れる場合がありますので、それによっては申請の期間と若干前後するようになると思います。おそらく農業委員会に申請を出して延期願いみたいなものが出ているのだらうと思います。このような理由で、工事がスムーズにいかない場所もあるので、考慮していただきたいと思います。

10 飯田ダム周辺の道路管理について

【意見等】

飯田ダムのまわりを走る会をやっており、管理課には話しているが、道端の除草と路面が傷んでいるのでその管理をお願いしたい。道路里親制度は、県道にもあるのか。県道の部分は道路から1m50cmぐらいあるが、道路から70cmぐらいしか除草せず、年に2回しかやらない。残りの部分は、県の土地の隣接地の地権者が作業をして景観を保っているのので、県に話してみたい。

【回答】

路面の打ち替えも痛んでいるところは当然必要ですが、飯田ダムだけでなく、市内全体で草の管理は問題になっています。県による作業も年に2回か1回で、国道部分は刈らない部分もあります。維持管理も財政面で難しくなっている状況で、県にも一定の区間の管理を地元の人をお願いする「道路里親制度」があります。市道については、市でも制度があるので、管理をお願いしているところもあるので、除草や花植えなどの管理が地元のできるのであれば、お願いしたいと思っています。ただし、危険ではないところでお願いはしています。ダムの外周道路は市道なので、目が届かないところは言ってもらいたいと思います。

11 笠間城跡の観光資源化について

【意見等】

城跡を見るツアーがあるが、笠間城を復元して笠間の観光資源とすることはできないか。

【回答】

お城というのは、全国的に人気がある傾向があります。笠間城跡も歴史的に価値のあるものではないかと言われてきましたが、今まで正式に調査がされていなかったのので、去年、一昨年と専門家に調査をしてもらい、その結果、今は市の指定文化財だけれども国指定文化財になる価値が十分あり得るという報告となりました。指定をするには、佐白山の頂上からどこまでのエリアを文化財として指定するのかをまず決めなければならず、5~6年かけて毎年少しずつ調査を専門機関に依頼して、その調査が終わった時点で国に文化財指定の手続きをとっていくということで進めています。

ずれたりしている石垣は今年直しますが、国の文化財になると、復元には補助金が出ます。お城の図面は残っていないと思いますが、お城の復元も可能性としては出てきます。補助なしで市単独でやるのは正直難しいので、国の指定を受けるのが第一と考え、その取組みをしています。将来的には二層でもいいのでお城ができて、ライトアップでもすると笠間の大きなシンボルになると思います。

12 JR水戸線の将来について

【意見等】

水戸線がダイヤ改正で2本、本数が減った。鉄道を活用して盛り立てていくためにも駅を利用しやすくするような都市政策が大事ではないか。

【回答】

水戸線は一つの財産なので、財産は地域で守っていかなければなりません。利用者がいなくなったら廃止されるのは当たり前なので、10回に1回は車を使わないで水戸線を使うとか自

分から率先して使っていく心がけが大切です。行政としても駅の利活用が増えるように稲田駅に石の百年館を作り、少しでも駅利用者を増やすよう周辺整備をしまし、友部と岩間は駅周辺の整備をし、駅からのハイキングを実施したりもしました。路線バスも同じで、普段ガラガラ状態で、たまに1人か2人乗っている程度。でも廃止しないでくれ、という声があります。そのためには、みんなで支えていかないとこれからの人口減少と減っていく予算の中では維持していくのが難しいものも出てきてしまうことはあると思いますが、しっかり取り組んでいきたいです。